

ガンバ大阪応援弁当プロジェクトの教育効果について

吉村智春*, 藤原政嘉

大阪青山大学健康科学部健康栄養学科

Educational effects of the Gamba Osaka-supporters' box lunch project on students

Chiharu YOSHIMURA, Masayoshi FUJIWARA

Faculty of Health Science, Osaka-Aoyama University

Summary As part of a partnership agreement with the professional soccer team Gamba Osaka, this Department has been undertaking a co-operative project "Gamba Osaka –supporters' box lunches" for seven years since 2011 through 2017. The present report deals with some educational effects of the project on students involved, such as acquirement of management and presentation skills.

Keywords: educational effects, Collaborative activities, management skills

教育効果、連携活動、マネジメントスキル

1. はじめに

大阪青山大学健康科学部健康栄養学科では、パートナー契約を結んでいるサッカーJリーグチームの「ガンバ大阪」との連携活動として、2011年度より2017年度までの7年間「ガンバ大阪応援弁当プロジェクト」を年1回のペースで実施した。

このプロジェクトの大きな目的は、ただ単なる美味さや楽しさ、営利を目的とするのではなく、給食経営管理論、食品衛生学、栄養教育論、食品学などで学習した「食のマネジメント」の実践として活用し、本学健康栄養学科の学生が管理栄養士として「食のあり方」や「食の倫理」などを考える場としている。

2. 「ガンバ大阪応援弁当プロジェクト」の概要

ガンバ大阪応援弁当は、美味しいだけでなく栄養価に配慮し、協力選手（表1）の地元の名産品や旬の食材を取り入れたオリジナルの観戦弁当を学生が企画し、120食（提供100食＋試食20食）をガンバ大阪サポーターに有償提供している。その内容はチームを応援するとともに栄養価の配慮や地域の特産物や食文

化についての情報も発信している。

学生が、弁当のコンセプトなどの原案を作成し、対象の協力選手にインタビューを行い、献立作成や試作やパッケージ案を作成し、ガンバ大阪での試食会を実施し最終決定する。提供当日は、調理する学生が早朝より登校し、給食経営管理実習室の衛生管理マニュアルに沿って衛生的配慮を入念に行い、仕込み→調理→盛付→配達作業を行う。また、試合会場担当学生は会場設営を行い、提供時にアンケートはがきを提供者に配布し評価を得ることにしている。ガンバ大阪応援弁当提供後は、その年度の開始時から提供後までの流れや問題点などをまとめガンバ大阪へ報告会を実施することとしている。資料は中心となって運営した3年次生が作成する。なお、報告会終了後は2年次生、1年次生に報告会の様子を伝えるとともに次年度への引き継ぎも行う。このプロジェクトの流れを図1に示す。

3. 学生への教育効果

このプロジェクトは、給食経営管理論や食品衛生学などで学んだ時間管理や温度管理、食品表示などの実践活動の場として活用し、安全安心で栄養バランスにとんだ弁当を提供することである。また、栄養教育論

*Email: c-yoshimura@mail.koka.ac.jp
〒615-0882 京都市右京区西京極葛野町38

やプレゼンテーション論などで学んだことを生かし、提供前には協力選手へのインタビューや献立やパッケージなどプレゼンテーションをガンバ大阪のスタッフや協力選手に対して行う。提供後にも報告資料をまとめ報告会を実施している。この報告会の資料作成では学生たちが学んだことを振り返り、学んだ内容をまとめる良い機会となっている。また、2016年度の3年次生は2011年度からの内容をまとめ、第12回日本給食経営管理学会学術総会にて発表した。

このプロジェクトは、栄養管理、食事管理（献立管理、衛生管理、原価管理）などの「食のマネジメント」を一連の流れとして学ぶことができる。3年次生が中心となり、1年次生や2年次生に対し様々な面で指導しながら進めていくため、3年次生は将来の管理栄養士の動きを実践で学ぶことができる。また、1年次生や2年次生は先輩より多くのことを学び、3年次生で中心的な役割を果たせるようになる。

学生たちは、この一連のプロセスの中で以下のことを学ぶことができた。

1) マネジメントスキルの確保

- I. リーダーシップとチームワークの必要性の認識（下級生への指導）
- II. 栄養素と食事のコーディネート（献立→大量調理と調理技術）スキル
- III. 衛生管理（HACCP）実践スキルの確保

2) プレゼンテーションスキルの向上

- I. 栄養教育の実践
- II. 媒体の作成
- III. 学会での発表

3) コミュニケーションスキルの向上

- I. 選手とのインタビュー
- II. 他の関係者との交渉

4) レポート作成能力の向上

- I. 報告書の作成

5) 管理栄養士の職業意識の開花

4. 今後の課題

2011年度より「ガンバ大阪応援弁当プロジェクト」を継続してきたが、2015年11月にガンバ大阪を応援するサポーターと一緒に元気で健康的な応援ができるように、万博競技場にてSATシステムを用い食生活診断を実施し好評を得ている。今後は弁当を作成することにこだわらず、管理栄養士としての実践の場となるようなプロジェクトを学生主体で提案していくことが、より教育効果が期待できると考えられる。

表 1

実施年度	弁当タイトル	ガンバ大阪協力選手	提供日
2011 年度	どや！俺らがNo.1 ☆がつつきガンバ弁当	加地亮選手 木村敦志選手 下平匠選手	11/26 (土) ベガルタ仙台戦
2012 年度	GAMB 大阪 ぶっちぎり弁当	加地亮選手 木村敦志選手 田尻健選手	3/17 (土) 横浜 FC 戦
2013 年度	“祝 J1 昇格” がんばれ！ガンバ弁当	加地亮選手 木村敦志選手 武井択也選手 田尻健選手	11/17 (日) モンテディオ山形戦
2014 年度	VVV ガンバ弁当	丹羽大輝選手 オ・ジェソク選手 田尻健選手	11/29 (土) ヴィッセル神戸戦
2015 年度	GOAL BOX	丹羽大輝選手 田尻健選手	2/14 (日) 名古屋グランパス戦
2016 年度	いったれ いったれ 青黒の戦士たち	丹羽大輝選手 長沢駿選手 田尻健選手 呉屋大翔選手	2017 年 5/20 (土) サガン鳥栖戦
2017 年度	巻き起こせ 勝利の追い風	長沢駿選手 三浦弦太選手 鈴木椋大選手	11/26 (日) 北海道コンサドーレ札幌戦



図 1 提供までの流れ